ご利用者様 シタイヒャー！

こんなこと好きです・得意です・ハマってます

デイサービスセンター谷茶の丘

仲本 美佐子 様

「素敵な笑顔に癒されています」

仲本様は大正十一年生まれで九十八歳のご長寿です。週二回のデイサービスではいつも笑顔で周囲の方とのゆんたくを楽しまれています。

昨年末の「クリスマス忘年会」でもゲームレクプログラムや職員余興で大笑い。

「こんなに笑ったのは久しぶりで元気になったさ～。ありがとうね。」と大満足のご様子。

その笑顔に私たち職員も「頑張ったかいがあるね」とテンションがアガりました！

仲本様の今年の目標は「好きなハーモニカ演奏でみんなを笑顔にすること」。「そのためには肺活量も鍛えないとね」と身体も積極的に動かされています。

ショートステイ大名

田島 貞子 様

「前向きが長寿の秘訣です」

田島様はショートステイを定期的にご利用されて3年ほどになります。平日は大名デイサービスフレンドふるじまを利用しながら、ショートステイでも活動的に過ごされ、体操や音楽活動、脳トレ、手作業等、どんな活動にも積極的に取り組まれています。

若い頃は夫婦で農業をして生計を立てられ、家庭をしっかり支えてきた田島様も今年で数え97歳を迎えられます。

目標のカジマヤー、百歳に向けて日々健康で前向きに過ごせるよう、これからもお世話をさせていただきます。

しきなガーデン デイサービスせんりょう

石川 幸子 様

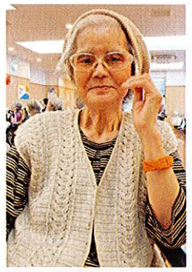
「手作りの帽子・ベストづくり」

デイサービスせんりょうでは手先が器用なご利用者様が、活動の合間にお好きな小物を作って楽しまれています。

今回得意の編み物でテーブルクロスや帽子を作り、さらに周囲の方へプレゼントすることを楽しみとされている石川様にお話をお伺いしました。

編み物や刺しゅうは中学1年から好きでよくやっていました。結婚して子どもが生まれた後は、親子でお揃いの服を作って着ていましたね。ふたりで外を歩くととても目立ちましたよ。

帽子は集中したら二日で編めますが、デザインを決めるまでが大変で考えているだけであっという間に時間が過ぎてしまいます。毛糸の帽子を被っている人がいたら近くに寄って帽子のデザインを見て勉強しています。



写真上：50年前の独身時代に作ったベストを着る石川様
写真下：最近作った鮮やかなレースのベストと帽子

しきなガーデン サポートハウスのぞみ グループホームコスモス

「ムーチー（鬼餅）作り」

旧暦の12月8日は「ムーチーの日」。入居者様と職員が一緒に一つ一つの工程を楽しみながらムーチーを手作りしました。

出来上がったムーチーは健康と長寿を祈願しながら早速入居者様と職員で美味しく頂いて、しっかりと厄払いをおこないました。

ご家族様からのプレゼント紹介

特別養護老人ホーム大名

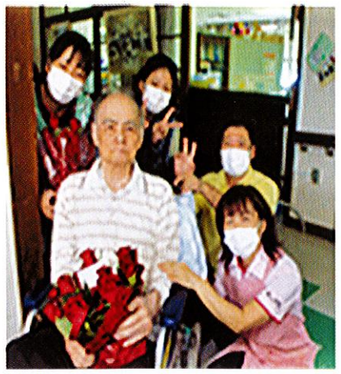
金城 清朗様の御家族 様

金城清朗様は現在86歳、八重瀬町のご出身で、学業優秀で立命館大学を卒業され、沖縄県庁を定年退職するまで勤めあげられ、その後も75歳まで働かれました。

温厚なご性格で知性の高い方で、趣味の油絵はシニア美術展で入賞するほどの腕前だったそうです。

また、動物特に犬がお好きで、家で飼われている愛犬のお話をされるときには、いつもにこにことうれしそうです。

今年のお誕生日には、コロナ禍の面会制限の中で奥様より薔薇のブーケのプレゼントが届き、ユニット職員で誕生会をひらかせていただきました。



〈エッセイ〉「首里城復興を応援します！」

大名 看護サービス課 中尾 友紀 氏

私は首里城が大好きです。朝日に照らされ輝く朱色の守礼門や龍潭池から眺める正殿、夜は琉球石灰岩で積み上げられている城郭がライトアップされ、足を運ぶ度に神聖な空間に心が洗われ、感動します。

大変大きな喪失感をもたらしました二〇一九年一〇月の首里城火災から1年が経過しました。日本国内だけでなく、世界中から首里城再建を願う多くの支援があり、改めて世界遺産である沖縄のシンボルの崇高さを身に染みて感じました。

私は首里城早期復興・再建を願った「首里城復興イベント」にこれまで積極的に参加しています。

LEDランタンを手に、首里城へと希望の燈を届けるウォーキングイベントでは、一歩一歩、歩みを止めることなく進むことで多くの人の首里城への想い（うむい）を共有し、必ず再建するという機運を高めることができました。また火災で焼けのこった赤瓦を使った漆喰シーサー作りでは煤の付いた赤瓦で、火災した首里城を忘れず、守り神であるシーサーを作ることで首里城への夢と希望を実現に変えていく一体感を感じることができました。

これからも首里城の再建を見届けたいです！

焼け残った赤瓦で作った漆喰シーサー

「2020 オンラインNAHAマラソンに参加して」

老人ホーム大名では毎年12月第1日曜日に開催される「NAHAマラソン」へ職員有志が参加し、与儀小学校前（スタートからおよそ3㎞地点）に立つ老人ホームののぼりの元に、理事長をはじめとする職員の方々が応援団として待ち構えてくださり、心強い応援を受けていざ颯爽と南城路へ向かっていく、ことが恒例となっています。

今年の開催は新型コロナウイルスの影響により来年へ延期されましたが、代わりにランニングアプリを使用して走行距離、タイムの記録を申請し、トータルで完走すると記念品が届くというオンライン形式となりました。

来年はパンデミックが収束して、また皆笑顔でスタートラインに立ちたいです。

（広報委員 千葉）

完走の記念品、やっぱりメダルがいいかな